

## 平成24年度「総合的な学習の時間」の全体計画

### 1 「総合的な学習の時間」の校内での名称（実施学年ごとに記入する）

「生徒一人一人の在り方・生き方を問いかける進路学習」

- 1年 「自分探しの旅」
- 2年 「進路発見の旅」
- 3年 「進路を具体化する旅」

### 2 学校の教育目標

- 1 人格の完成をめざし、真理と正義を愛し、個人の価値をたっどび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健全な国民を育成すること。
- 2 人類及び社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、将来国家及び社会の有為な形成者として必要な資質を養うこと。
- 3 個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高めるとともに、大学において専門的学識技能を修得する基礎を作らせること。

### 3 各学校において定める「総合的な学習の時間」の目標

本校のほとんどの生徒が大学進学を希望する中で、長期的な展望にたった自己の職業観や進路選択を広い視野で考える姿勢の育成を目指す。具体的には、社会との関わりの中で自己の進路を見つめること、学ぶ意欲を高めること、いろいろな生き方を知ること、学び方やものの考え方を身に付けることを通して進路意識の深化をめざす。

上記のような事柄に加え、奉仕活動、進路講演会、卒業生による進路懇談会、大学訪問、大学教授による模擬授業体験などを計画的に行うことにより進路学習を進め、自己の進路について考え、進路希望実現への意欲を高めていく。

### 4 生徒・学校・地域の実態

第1学年 320名、第2学年 320名、第3学年 320名。

ほとんどの生徒が大学進学を希望する。同窓会との協力体制が整っており、総合的な学習の時間として第2学年次に実施する「進路講演会」「先輩企画」「法曹界企画」では同窓会を通じての講師をご紹介いただいている。

### 5 指導体制（実施学年ごとに記入する）

進路部に「総合的な学習の時間」担当の専任を置き、学年と連携して生徒を支援する。

1年は教員1人が生徒約40名を担当し、奉仕活動に際しては、学年団に加え、生徒部・部活顧問・奉仕委員会などが合同で指導に当たる。2学年は教員1人が生徒約40名を担当する。3学年は以下の講座を担当・副担任が担当する。なお、一部講座については

1, 2年の担任または副担任が担当することがある。（以下は23年度の講座・内容）

- a. 古典に親しむ b. 読書に勤しむ c. 時事教養 d. 社会学入門 e. 数学に励む
- f. 交通機関を考える g. 研究物理 I h. 物理の実験と考察 i. 化学を楽しもう
- j. 実験から探求する化学 k. 身近な生物の観察 l. 地学入門 m. 音楽を楽しむ
- n. 美術を楽しむ o. 演劇・表現を楽しむ p. フランス語講座 q. スポーツを楽しむ

1, 2年生は時間割内に置かず、1回につき1～3時間をあてて年間25回程度実施する。

3年生は上記の講座を毎週1単位時間（50分）選択する。（曜日・校時は未定）

## 6 育てようとする資質や能力及び態度

奉仕活動を通して、社会との関わりの中で自己の進路を見つめる態度、外国人留学生やいろいろな職業に就いている先輩、著名人などから話を聞きさまざまな人の在り方・生き方を参考に自分を見つめることのできる能力。大学・職場訪問、高大連携・インターンシップなどを通して自分の進路を考えることのできる能力。自らの将来を見据えてその進路を実現するために必要な情報の収集、志望学部・学科の検討、進学希望大学などを考えることのできる能力。

## 7 内容（学習対象、学習事項）（実施学年ごとに記入する）

1年次は、社会に対して視野を広げるための奉仕活動を通して、自分の進路を見つめ直すと共に関心を深め、その実現のために「学ぶ」ということの意義について考え、学ぶ意欲や態度を身に付ける。

2年次は、生徒が自己の進路目標を明確なものにするために、教科学習の取り組み方を常にチェックする習慣をつけさせるとともに、自己の興味・関心に応じて進むべき方向性を絞り込むための体験的活動や、上級学校でどのような授業が展開されているかを知るための体験的学習を中心に行い、進路意識の具体化と深化を図る。

3年次は、生徒や教師が提案した講座の中からより学習を深めたいと考えている講座を選択し、週単位の時間割に位置付けて知識や技能の深化や総合化を図る。

## 8 学習活動

1年次は、奉仕活動の理念と意義について学ぶとともに、清掃活動や中学生対象の部活指導を通じた体験、および日本の大学で学ぶ留学生から、いろいろな生き方を知り、自己の在り方生き方や進路について広く考える機会をもつ。

2年次は、主にクラス担任が指導にあたるが、社会で活躍されている本校の卒業生から、いろいろな生き方を知り、自己の在り方生き方についてより具体的なイメージを持ちながら進路意識の深化をめざす。また、大学訪問や大学出張講義などを通して、将来の進路希望実現に向けての主体的な学習態度の育成を図る。

3年次は、自己の興味・関心や進路希望に基づいて、「5」の講座・内容の中から一つを選択し、毎週1回（50分）の時間の中で、学習を深める。

## 9 指導方法

1・2年生は時間割内に置かず、1回につき1～3時間をあてて年間25回程度の実施であるが、年間を通じていつでも指導教員には相談できる体制をとり、個に応じた指導がいつでも可能である。

3年生は「5」の講座を毎週1単位時間（50分）選択するが、ここでも少人数を心がけ、生徒個々の各課題に対してきめ細かな指導ができる体制をとっている。

## 10 各教科等との関連

担当する内容は必ずしも専門教科の内容であるとは限らず、教師の側からも教科横断的内容となっている。

## 11 外部との連携

立川高校同窓会、留学生協会、各大学。

平成24年度「総合的な学習の時間」の年間指導計画

1 単位時間の時間（ 50 ）分

(1) 第1学年

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	オリエンテーション	奉仕の理念と意義を学ぶ 今後の活動計画について説明	過去の経験をレポート提出。	1
	6	多摩緑地清掃	4日間にわたる多摩川緑地の清掃活動 (体験)	生徒部・学年団が 現地指導	4
2	6	留学生による講演	世界のボランティア活動・文化に 体験活動を通しふれ合う (体験)	下調べレポート 活動 活動報告	1 2 1
	8	夏季休業中の奉仕活動	中学生対象部活動体験および個別 のボランティア活動の計画立案 奉仕体験実施 (体験)	レポートによる 活動計画 顧問・奉仕委員会・学年団による 引率指導 活動報告	1 7
	10	本校卒業生による講演	社会における奉仕活動の実態	下調べレポート 講演 報告レポート	1 1 2
	12	奉仕講演	奉仕活動について	講演 報告レポート	1 2
3	1	立川市地域清掃	立川市清掃課講演 清掃グループ分け、目標設定 立川市地域清掃活動 (体験)	講演 目標設定 活動 活動報告	1 1 5 1
	3	小論文	一年間の活動の振り返り	小論文	2
配当時間 数の合計					35

## (1) 第2学年

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間		
1	4	年間計画説明	取組方法の説明、年間予定、評価、単位などの説明	7月の1学期末においてワークシートの提出状況・内容から評価をする。	1		
		学習リエンション	2学年での学習の仕方の説明		2		
		調べ学習	修学旅行の目的地の地理、歴史について①		1		
		講演会	卒業生による講演（内容未定） 質疑、感想文		2		
	6	卒業生法曹界講義	事前学習		同窓会から講師派遣 質疑、討論、感想文	1	
			3				
	7	調べ学習	進路の種類や方面について		7月の1学期末においてワークシートの提出状況・内容から評価をする。	1	
		学習自己点検①	2年での学習上の反省と今後について、振り返りシートの作成。			1	
		調べ学習	修学旅行の目的地の地理、歴史について②			1	
		学習分析 進路の手引の説明	今後の学習の取り組み方の説明。 進学知識をつけさせる。			1 1	
	2	8	大学訪問		オープンキャンパスを利用した大学訪問と報告書の作成。	12月の2学期末においてワークシートの提出状況・内容から評価をする。	3
			模試の返却・説明		個人シートの見方の説明と、今後の学習の方針を立てさせる。		1
		選択説明会	進路選択について考えさせる。		1		
		10	大学出張講義の説明 進路ガイダンス		講師の紹介、講義内容について 進路選択をより明確にさせる。		1 1
大学出張講義 調べ学習			大学教授による出張講義 志望分野、志望校について	2 1			
3		11	学習自己点検②	学習上の反省と今後を考えさせる。	学年末には提出されたワークシート全体を通して、取り組み状況などを総合的に判断して評価する。		1
	調べ学習		修学旅行の目的地の地理、歴史について③	1			
	12	模試の返却・説明	前回との比較、今後の学習の方針を立てさせる。	1			
		進路希望調査	第一志望校の決定、志望理由書の作成	1			
13	学習自己点検③ 模試の返却・説明	2年の反省と今後を考えさせる。	学年末には提出されたワークシート全体を通して、取り組み状況などを総合的に判断して評価する。	1 1			
		1年間の推移の確認と、次年度に向けた方針を立てさせる。					
		進路懇談会の説明 進路懇談会	実施方法、卒業生の紹介について 卒業生との進路懇談会	1 3			
配当時間数の合計				35			

## (3) 第3学年

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	進路講話 オリエンテーション	3学年における「総合的な学習の 時間」の取り組み方の説明等	講座担当者ごとに 評価基準を作成し、 年度途中は、ワーク シート等を適宜活 用して評価する。 学年末では、年間を通 しての取り組み状況 なども加味しながら 評価する。	2 1
		講座ごとの活動			1 4
2	7	進路調査	大学の受験科目調査		1
	9	進路講話	入試説明会と大学試験日程調査等		2
	12	進路調査	大学の受験校・学部・学科・日程の 調査 入試自己採点		1 1
3	1	進路分析			3
配当時間 数の合計					3 5